

円高が製造業の企業収益に与える影響

～1ドル＝85円で収益が1割下振れ～

- (1) 日銀短観6月調査によれば、製造業の2010年度下半期の想定為替レートが1ドル＝90.5円であるのに対し、足元では85円近辺まで円高が進行。そこで、円高急伸が2010年度下半期における製造業の収益に与える影響を試算。仮に、円相場が先行き1ドル＝85円で推移した場合、外貨建輸出額の円換算額の目減りに伴い、製造業の営業利益が1割程度押し下げられるとの結果。
- (2) 内訳をみると、石油・石炭製品、食料品、木材・木製品など輸入依存度の高い産業では、円高がプラスに寄与する一方で、自動車、電気機械、一般機械など輸出産業では、円高が収益押し下げに作用。とりわけ、輸出依存度の高い自動車は、2010年度下半期に赤字転化する恐れ。
- (3) 以上は、円高による価格効果のみを試算したものであり、企業の競争力低下を通じた輸出数量減少の効果を併せれば、円高による製造業の収益へのマイナス効果はさらに大きくなる可能性。

(図表1)円高が製造業の企業収益に与える影響<試算>
 (平均レート<1ドル＝85円>で推移した場合)

	日銀短観6月調査 10年度下半期の 営業利益見通し	円高による10年度下半期の 営業利益への影響	
	(兆円)	(兆円)	(営業利益に対 する割合、%)
製造業	7.06	▲ 0.74	▲ 10.5
素材業種	2.67	0.06	2.1
加工業種	4.38	▲ 0.83	▲ 18.9
自動車	0.24	▲ 0.29	▲ 119.8
造船・重機、その他輸送用機械	0.21	▲ 0.08	▲ 37.6
電気機械	1.26	▲ 0.28	▲ 22.3
はん用・生産用・業務用機械	0.96	▲ 0.16	▲ 16.7
鉄鋼	0.43	▲ 0.05	▲ 11.4
その他製造業	0.67	▲ 0.06	▲ 9.5
窯業・土石製品	0.27	▲ 0.01	▲ 5.4
化学	1.41	▲ 0.06	▲ 4.4
繊維	0.14	▲ 0.00	▲ 1.6
紙・パルプ	0.14	0.00	3.0
金属製品	0.20	0.01	6.1
食料品	0.84	0.06	7.5
木材・木製品	0.04	0.01	13.2
非鉄金属	0.14	0.06	40.3
石油・石炭製品	0.11	0.21	193.7

(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」、財務省「貿易統計」、総務省「平成17年産業連関表」等より
 日本総合研究所作成。

(注1) 2010年上半年期における外貨建輸出割合(59.0%)、外貨建輸入割合(76.4%)を一定と仮定して試算。

(注2) 業種毎に異なる想定レート等を用いたため、合計は全体の値とは必ずしも一致しない。